

水煙文土器

すいえんもんどぎ

中部高地に芽生えた

2026

9.19 SAT — 11.23 MON

開館時間 9:00—17:00 [入館は16:30まで]

The 43rd

特別展



山梨県立考古博物館
Yamanashi Prefectural Museum of Archaeology



中部高地に芽生えた 水煙文土器 とその周辺



1. 釈迦堂遺跡出土 釈迦堂遺跡博物館蔵 [重要文化財] 2. 阿久和宮遺跡出土 (公財) 横浜市ふるさと歴史財団蔵文化財センター蔵 3. 藤内遺跡出土 井戸尻考古館蔵 4. 岩舟台遺跡出土 大田原市蔵 5. 上木戸遺跡出土 長野県立歴史館蔵 6. 道尻手遺跡出土 津南町教育委員会蔵 [津南町指定文化財]

水煙文土器は、渦巻く水煙を思わせる躍動感あふれる文様が特徴の土器です。山梨・長野を中心とした中部高地で数多く出土しており、その芸術性に富んだ造形から、近年国内外で高く評価されています。大きさはさまざまで、子どもの背丈ほどもある巨大な個体も存在します。その特異な造形も相まって、縄文時代中期の優美な土器群の中でもひととき異彩を放っています。この有機的な渦巻の連続は突発的に生まれたものではなく、同時代の周辺地域で造られた多様な土器型式の影響を受けています。「水煙文」と対をなす「火焰型」土器をはじめ、一見すると造形的な類似点がないように見える型式まで、幅広い要素が取り込まれています。本展では、大小さまざまな水煙文土器とともに、その造形にインスピレーションを与えた周辺地域の土器を一堂に集め、約5000年前にさかのぼる「水煙文」の秘密に迫ります。

参加無料
要予約
記念講演会
会場：風土記の丘研修センター

各回専門の講師を迎えて講演会を行います。

時間：13:30-15:00 [全3回]

第1回 9.20日
今井 哲哉 氏 (文化庁美術学芸調査官)
「縄文造形の極致 安達寺遺跡の水煙文土器
—重要文化財指定への歩みとその魅力—」

第2回 11.1日
水沢 教子 氏 (東北大学非常勤講師)
「大木式土器の南下と
中央高地の中期縄文土器」

第3回 11.15日
橋原 功一 氏 (帝京大学文化財研究所教授)
「中部高地の水煙文土器」

申込方法
8月20日(木)よりホームページまたは
電話【055-266-3881】にて申し込み
を受け付けます。なお、内容は変更になる
場合があります。最新情報は随時ホーム
ページでお知らせします。

観覧料

一般・大学生 600 (480) 円
小・中・高校生 無料
県内在住の65歳以上の方 無料

※()内は20名以上の団体料金
※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名無料

休館日

会期中の月曜日
※ただし、9/21・10/12・11/2・11/23は開館

主催

山梨県立考古博物館

後援

朝日新聞甲府支局 / エフエム甲府 / エフエム富士 / 産経新聞甲府支局 / テレビ朝日甲府支局 / テレビ山梨 / 日本ネットワークサービス / 毎日新聞甲府支局 / 山梨新報社 / 山梨日日新聞社 / 山梨放送 / 読売新聞甲府支局 / 曾根丘陵公園指定管理者 富士観光開発・富士グリーンテックグループ

協力

山梨県立考古博物館協力会 / 縄文王国山梨実行委員会 / 甲信縄文文化発信・活性化協議会



自動車 中央自動車道甲府南ICを下り1分(インター正面)
タクシー JR甲府駅南口から約20分
JR東花輪駅から約15分
路線バス JR甲府駅南口から
中道橋経由豊富行バス
「県立考古博物館」下車
高速バス JR新宿駅南口バスターミナル
より甲府線(甲府南経由)
「中道」下車徒歩5分

ワークショップ「土器ドキクッキー作り」

曾利式の土器をモチーフにしたクッキー作り!

要予約 9.21日祝・9.22日祝

[定員：両日午前・午後6名ずつ / 参加費：無料]

会場：風土記の丘研修センター

申込方法 8月21日(金)より電話にて申し込みを受け付けます【055-266-5286】。

特別展観覧者対象「ギャラリートーク」

担当学芸員が特別展を解説します。
ご希望の日時にご来館ください[各日2回]。

予約不要 10.18日・11.20日

①10:00 ~ ②13:30 ~

会場：山梨県立考古博物館

山梨県立考古博物館

Yamanashi Prefectural Museum of Archaeology

400-1508 山梨県甲府市下曾根町 923

055-266-3881 山梨県立考古博物館